

No.	質問内容	資料名及びページ番号	明石市回答
1	「1.3 準拠すべき規定等」に『地方公共団体基幹業務システム_機能別連携仕様（住登外者宛名番号管理）』『地方公共団体情報システム_項目定義書（住登外者宛名番号管理）』があります。 また、「2.4 共通機能に係る方針 (3)住登外宛名番号管理機能」に業務システム個別に住登外を管理しながらも住登外システムの連携を要件とされています。利用を想定していない機能の検証を行うことが難しい（宛名番号の競合などのリスク）です。 また、他の実装必須機能についても利用の有無にかかわらず、システムテスト・連携テスト・運用テストを行う想定でしょうか。	04_調達仕様書 P1,5	・「住登外者宛名番号管理」機能は、本市では導入しません。しかしながら、本市独自機能として、本市が別途利用する宛名システムで管理（登録・修正等）する住登外者情報を「地方公共団体情報システム_項目定義書（住登外者宛名番号管理）」（以下「項目定義書」という。）のレイアウトにて連携データを作成することが可能です。そのため、項目定義書のレイアウトで住登外者情報を健康管理システムに取り込むことができる場合は、健康管理システムで個別に住登外者情報の登録・修正を行わず、宛名システムからデータ連携することを想定した仕様としています。したがって、項目定義書のレイアウトで住登外者情報を健康管理システムに取り込むことができない場合は、健康管理システムで個別に住登外者情報を管理することとなりますので、住登外者情報のデータ連携に係るテストは不要です。 ・実装必須機能については、原則として利用の有無にかかわらず、テストを行う想定です。なお、連携テスト及び運用テストについては本市と協議の上、利用の有無等により実施の判断を行います。 ・標準仕様書上の実装必須機能については、貴社システムが実装している旨を機能IDベースで説明いただく資料の提示をもって、実装の確認を行う想定です。また、機能別連携仕様への適合性については、デジタル庁の適合確認試験の対応をもって、実装確認を行う想定です。
2	「別紙1「事業一覧」に記載がない場合であっても、本システムで対応されている事業については、本業務の範囲内とする。」とありますが、「健康管理システム標準仕様書」に記載されている標準化対象の事業は、本業務の対象範囲となるという認識で間違いないでしょうか。	04_調達仕様書 P2	「健康管理システム標準仕様書」に記載されている標準化対象の事業は、本業務の対象範囲となるという認識で相違ありません。 『別紙1「事業一覧」』に記載の本市の現行の健康管理システムで対応している「標準化範囲外事務」については、どのような運用を想定しているのか、ご提案をお願いします。
3	「団体内統合宛名システムとの連携は、標準仕様書で決められた方式によるガバメントクラウド－オンプレミス間での連携となる。」とありますが、通信方式に関してはSOAP連携を想定しています。 問題ございませんでしょうか。	04_調達仕様書 P4 2.2 システム間データ連携	SOAP連携で問題ありません。
4	「本稼働時点において、他業務システムにおける版数に変更となる可能性があることに留意すること。なお、版数が増えた場合であっても、本業務範囲内で対応すること。」とありますが、健康管理システムにおける正式な全体バージョンの改版については、既定のバージョンアップ時での対応を想定しております。仮に他業務システム側において、特定の1業務に係る各論版数の更新が必要となった場合には、暫定的な対応として、連携処理においてエラーなく動作するよう対応する想定としております。 その際、健康管理システム側で扱う各論版数自体は変更しない前提としておりますが、本対応方針で問題ございませんでしょうか。	04_調達仕様書 P4 2.2 システム間データ連携	健康管理業務に影響が生じないようデータ連携処理が行えるのであれば、問題ありません。ただし、健康管理システムから他業務システムにデータ連携をする場合は、本市及び他業務システムの事業者と協議の上、対応方針等を決定します。
5	「2.6.1端末及びプリンタ」において「本市から提供されるものを活用すること」とありますが、提供される端末の解像度は、1280×800もしくは1920×1080で仕様を満たしておりますでしょうか。	04_調達仕様書 P6	本市が提供する端末（ディスプレイ）の解像度は以下のとおりです。 ・ノート型：1366×768 ・デスクトップ型：1280×1024 当該解像度で問題等がある場合は、提案書に問題点及び解決策等を具体的に記載してください。
6	「表7 サーバ利用要件」において、ディスク年間増額分が600GBであること、令和8年3月1日現在のディスク使用量（AP/DB）の数値の関係が不明確なため、算定前提・算定内容をご教示ください。	04_調達仕様書 P8	ディスク使用量(年間)600GBの内訳は、以下のとおりです。 ・パッチ適用等で使用する容量：10GB ・出力したファイルの保存で使用する容量：10GB ・バックアップで使用する容量：580GB なお、バックアップは、7世代(1週間分)を管理しており、年間増加分は15GBです。
7	「No.8 運用マニュアル」につきまして、システム操作手引き（オンラインマニュアル）および要件定義で整理した運用フローを成果物とする想定ですが問題ございませんでしょうか。	04_調達仕様書 P16 5.1 成果物	問題ありません。 貴社が提示可能な各種のマニュアル類について、その用途と内容および機能追加等に伴う改版対応の方針について、ご提案をお願いします。
8	B.1.1.3、B.1.1.4、B.1.1.5 健康管理システムにおいては、すべて主要なデータ（処理）として扱っております。今回のご提案において問題ございませんでしょうか。	別紙2_非機能要件要求レベル一覧 P5,6	問題ありません。
9	C.1.1.1 弊社共同利用環境では定時のインスタンスの停止/再開は行っておりません。インスタンスおよびサービス停止によるコストにつきましては、長期継続割引等で削減を図りますが問題ございませんでしょうか。	別紙2_非機能要件要求レベル一覧 P7	問題ありません。 ガバメントクラウドの利用コストの効率化の観点から、インスタンスの停止/再開の制御によるコスト削減と比較した、貴社の想定するコスト効率化の対応に関するご提案をお願いします。
10	「各事業において必要がある場合、実施機関（事業者・従事者）、委託先、委託単価を登録・管理できること」とあります。受診・接種情報をもとに積算することは可能です。一方で、勤務情報・従事情報は管理できず、その積算も不可能です。この場合、「○」「×」いずれとすればよいでしょうか。	13_（様式13）標準仕様外機能に係る機能要件一覧 1.1 委託料	実現可否については、「○」としていただき、備考欄に「ただし、個人委託者などの勤務情報・従事情報については管理できず、その積算も不可能です。」と記載してください。
11	「兵庫県より月次で受給者資格情報全件、年次で更新対象者情報を受領」とあります。こちらのデータ受領方法及び連携ファイルの仕様（連携レイアウト等）を提供いただくことは可能でしょうか。	13_（様式13）標準仕様外機能に係る機能要件一覧 9.特定医療費（指定難病）支給認定事務	受給者資格情報及び更新対象者情報を、兵庫県からCSVファイルで受領しており、オンライン画面からシステムへ取り込むことを想定しています。 受領データのファイルレイアウトは別添のとおりです。 なお、現時点での受領しているファイルレイアウトであり、構築時に変更している可能性もあります。